

相浦エリア

黒島地域（離島）

概要及び特性

黒島は相浦港から西方約13kmに位置しており、人口が538人、面積が約5.0km²、人口密度が108人/km²です。人口密度は、市平均（612人/km²）を大きく下回っています。地域外への公共交通機関は、相浦港との定期航路便が唯一の手段となっています。相浦港と黒島港までは、高島地区を経由し、フェリーで約50分です。

地域内は、多くが農地となっていますが、黒島天主堂や集落等、地域全体を文化的景観として保全しています。

地域内の産業は漁業や農業等、第一次産業が約50%を占めており、就業者の多くは、地域内で従事しています。また、日用品は、地域内で購入しますが、買回り品は、相浦地域や佐世保中央地域等を利用しています。

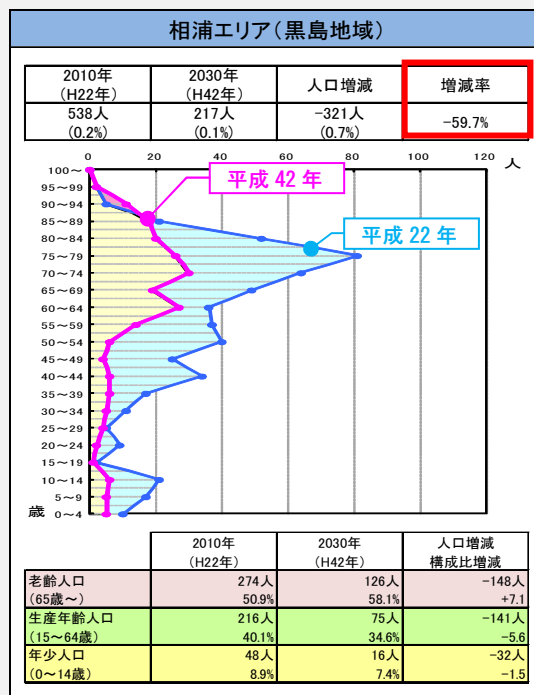
公共サービスや日用品等の買い出しでは、地域内で完結していますが、日常生活機能は相浦地域が補完しています。

人口変化

地域全体の人口は、この10年間で、約31%と大きく減少しています。（第1章P10参照）

今後の人口推計をみると、今後20年間で約60%減少し、200人程度になることが予測されます。

人口構成をみると、全世代で減少し、20年後の高齢人口比率は約58%になると予測されます。



公共施設の配置状況及び整備状況

【配置状況】

黒島地域の公共施設の配置状況は、地域中央部の名切地区に集積しており、支所、地区公民館、中学校、小学校及び市営住宅があります。

【整備状況】

地域内の公共施設は延1.1万㎡と、市全体の約0.8%を占めており、住民1人当たり19.7㎡と、市全体の平均値より大幅に高くなっています。延床面積の割合をみると、学校教育系施設が約84%、行政系施設が約12%、市営住宅が約2%となっています。

築年別整備状況をみると、旧耐震基準の建物が約83%となっており、学校教育系施設や行政系施設で老朽化が進んでいます。

図表 配置図（相浦エリア（黒島地域））

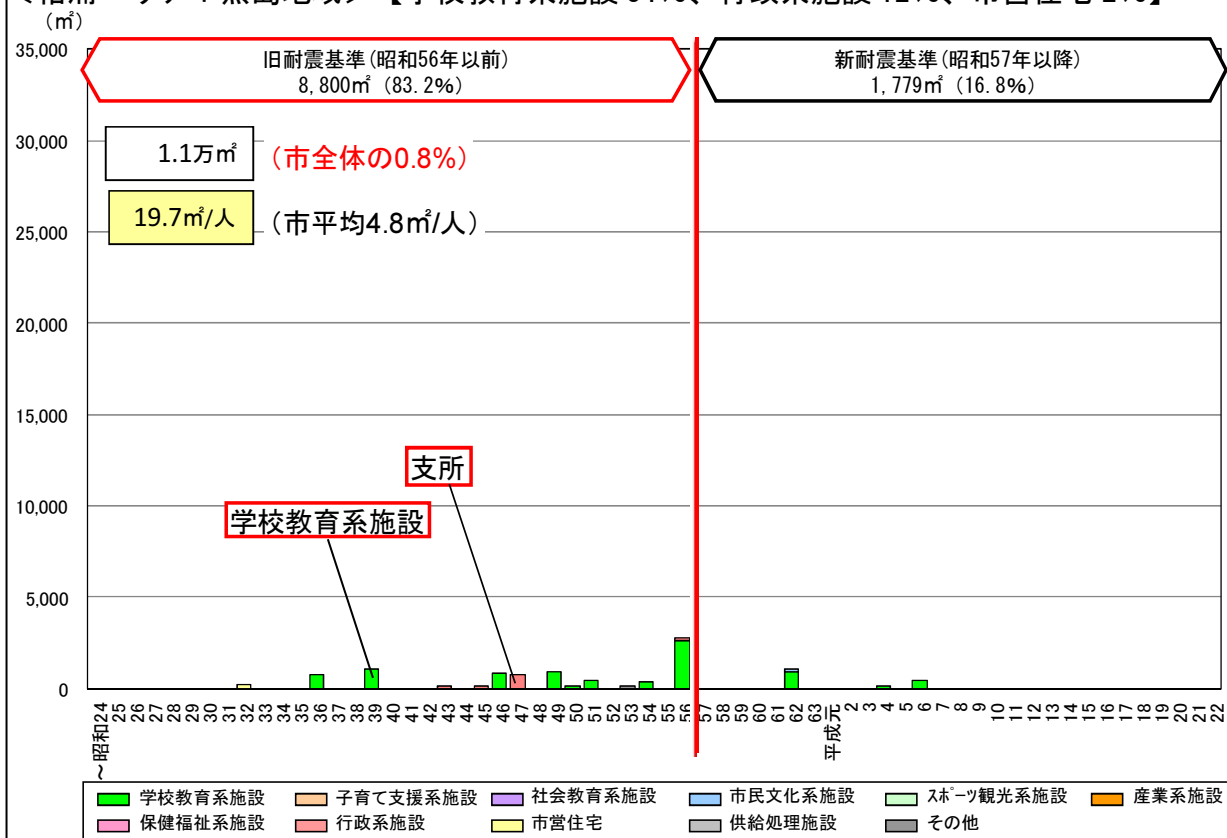
※配置図には主な施設を掲載しています。

※「人の流れ」は、都市計画マスタープランの都市軸等とは異なり、一般的な人の流れを示すものです。

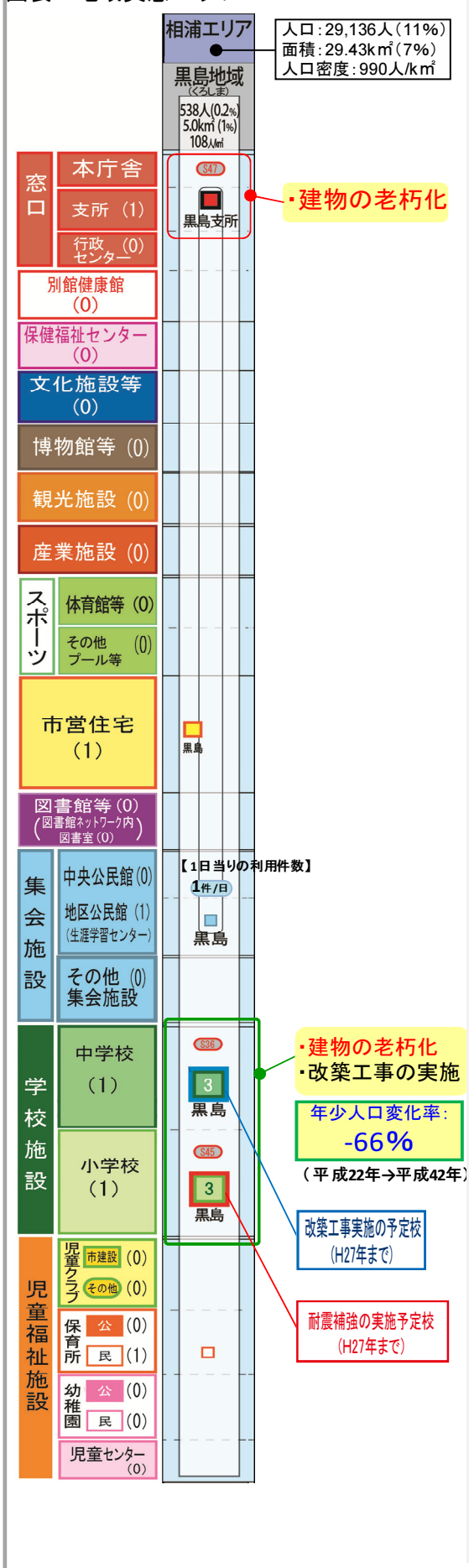


図表 築年別整備状況

<相浦エリア：黒島地域> 【学校教育系施設 84%、行政系施設 12%、市営住宅 2%】



図表 地域実態マップ



主な公共施設の状況

【公民館・生涯学習センター】

公民館・生涯学習センターは黒島地区公民館1施設があります。今後、部屋ごとの稼働状況を的確に把握し、利用者ニーズを把握することが必要です。

【小学校・中学校】

学校施設は、小学校が1校、中学校が1校の計2校あり、それぞれ平成27年度までに耐震化又は大規模改修等の老朽化対策の実施を予定しています。

【支所】

黒島支所1施設が配置されています。黒島支所は、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となっています。また、離島であることから、地域内の総合的な行政サービスも行っています。

今後の検討の視点

【耐震化・老朽化への対応】

地域内では、小学校・中学校施設及び支所に対して、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となります。公共施設は、建物のライフサイクルを通じた効率化を検討するとともに、周辺の公共施設の老朽化状況等を踏まえた効率化を検討する必要があります。

【市民ニーズに応じた施設配置・整備への対応】

今後は、用途ごとのニーズを的確に把握し、利用状況を向上させると共に、そのニーズに応じて、地域全体での施設配置・整備を検討する必要があります。

【人口構成の変化等による施設の有効活用】

今後人口が約60%減少すると予測され、20年後には約200人程度になってしまうことを踏まえ、保有施設の効率的な施設整備や、利用機能の見直しなどによる施設の有効活用を検討する必要があります。有効活用の方策としては、相浦地域を含めた公共施設の老朽化状況を踏まえ、行政サービスの向上と効率化について、多様な方策の検討が求められます。